

## 新規注文統合プロファイルの設定

このプロファイルは、ベンダーのデータベースからPO lineへのレコード同期を行います。

このプロファイルは、新規発注APIを使用するすべてのベンダーと連携し、RESTクライアントがAPIを使用して発注を作成する場合にも使用されます。詳細については、プログラム開発者ネットワークの次の項目を参照してください。

- [機関向け：参加ベンダーとのリアルタイム受入ワークフローの設定](#)
- [複数の新規発注API統合プロファイルの使用](#)
- [書誌レコードの決定方法](#)

その他のプロファイルについては、[統合プロファイルの設定](#)を参照してください。

## 新規注文API統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成するには、[設定]>[一般]>[統合プロファイル] aへと移動し、以下で説明している手順1と2の情報を入力します。

### ステップ1

以下のフィールドに情報を入力して、次へtを選択して手順2に進みます。

#### 統合プロファイルの手順1

統合プロファイル 手順1

フィールド	説明
ネットワークゾーンの使用	共同ネットワークの場合、ネットワークゾーンを使用する チェックボックスが表示されます。詳細については、「 <a href="#">インポートプロファイルの管理</a> 」を参照してください。
コード	プロファイルのコードタイトルフィールドは必須です。
名称	プロファイルの名前です。このフィールドは必須です。
インテグレーションタイプ	新規注文APIを選択してください。このフィールドは必須です。
システム	Alma が統合するシステムです。このフィールドは必須です。
デフォルト	このプロファイルをデフォルトとして設定するには、このチェックボックスをオンにします。特定のベンダーにプロファイルが設定されていない場合は、デフォルトが使用されることに注意してください。

フィールド	説明
説明	統合プロフィールの説明。

## ステップ2

以下のフィールドに情報を入力して、保存を選択して統合プロフィールを作成します。

### 統合プロフィールの手順2

#### 統合プロフィール手順2

フィールド	説明
正規化	
データ利用を訂正する	<p>メタデータのインポート中に、ここで選択した正規化オプションに加えて、<b>MARC 21 書誌の初期正規化</b>と保存時の<b>MARC 21 書誌の正規化タスク</b>がロードされたデータに適用され、インポートされたレコードが修正されます（これは典拠および初期典拠のインポートプロファイルタイプには適用されないことに注意してください）。<b>MARC 21 書誌初期正規化</b>プロセスの詳細は、<b>[リソース]&gt;[目録]&gt;[メタデータ設定]</b>で確認できます。<b>[MARC 21 書誌]</b>を選択します。<b>[正規化プロセス]</b>タブを選択します。<b>[MARC 21 書誌初期正規化]</b>を選択します。</p> <p>レコードがインポートされると、こちらで識別された正規化プロセスが適用/処理されてから、照合および統合/上書きが発生します。</p> <p>このドロップダウンリストで<b>書誌をコレクションに追加</b>を選択して、MARCレコードの787フィールドの値に従って、インポートされたデジタルタイトルをコレクションに自動的に割り当てるようにAlmaを設定します。詳細については、「<a href="#">XMLメタデータファイルを準備する</a>」を参照してください。</p> <p>インポートプロファイルの<b>物理的ソース形式</b>で<b>CSV</b>または<b>Excel</b>を選択している場合、ソース側に固定位置フィールド（MARC 21のLDR/008やCNMARCのLDR/100など）が含まれていなければ、ここで指定した正規化プロセスによってそれらの固定位置フィールドが生成されます。正規化プロセスが選択されておらず、固定位置フィールドが欠落している場合、<b>enable_import_computer_generated</b>顧客パラメータが<b>true</b>に設定されているときにデフォルトのテンプレートが使用されます。（詳細については、<a href="#">enable_import_computer_generated</a>を参照してください）。</p> <p>クロスウォーク後に正規化が実行されます。さらに、無効になっている場合でも、<b>MARC 21 Bib 初期正規化</b>がメタデータのインポートに適用されます。特定の初期正規化 <b>drool</b>が必要ない場合は、その<b>drool</b>を削除する必要があります。</p>
検証	
無効なデータ使用を処理す	<p>インポートされた無効なデータの処理方法を選択します。詳細については、<a href="#">検証例外プロファイルでの操作</a>を参照してください。</p>

フィールド	説明
る	Ex Librisは、MarcXML 書誌インポート 検証例外プロファイルの使用を推奨しています。
一致	
逐次刊行物一致方法	逐次刊行物のデータ照合で使用される方法。これらの方法の幾つかに関する詳細説明と具体例については、「 <a href="#">一致方法 - 詳細説明と具体例</a> 」を参照してください。
逐次刊行物以外の一致方法	逐次刊行物以外のデータ照合で使用される方法。これらの方法の幾つかに関する詳細説明と具体例については、「 <a href="#">一致方法 - 詳細説明と具体例</a> 」を参照してください。
不一致時	<p>Almaで一致する記録が見つからなかった記録をインポートするかどうかを示します:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• インポート - 記録をローカル機関にインポートする場合に選択します。</li> <li>• ネットワークゾーンに追加 - (ネットワークゾーンのみ有効です)</li> </ul> <p>デフォルトは、インポートプロファイル種別によって異なります。</p>
同じ目録タイプ (電子/物理) の記録が優先されます	<p>インポートする記録と同じタイプの目録を含む一致する書誌記録を優先します。</p> <p>このオプションは、プロファイル内で設定されている場合、ネットワークゾーンの実装時およびリアルタイム注文 (「<a href="#">リアルタイム注文</a>」を参照) でもサポートされます。</p> <p>目録タイプが優先される場合、インポート中に次のように最適一致が決定されます:</p> <p>Almaは、<b>目録操作</b> フィールドを使用して出典データの目録種別を決定します (「インポートプロファイルの作成/編集: 目録情報」を参照)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• なし - 目録に基づく設定はありません。</li> <li>• 冊子 - 設定は冊子目録に基づいています。</li> <li>• 電子 - 設定は電子目録に基づいています。</li> <li>• 電子・冊子のミックス - 目録タイプ (電子または冊子) は、リソースタイプ フィールドのマッピングに従って、書誌記録ごとに決定されます。入力ファイルには、リソースタイプとして定義されているフィールドに、冊子 (Physical) の「P」と電子 (Electronic) の「E」が含まれている必要があります。たとえば、[リソースタイプ]フィールドが「888\$d」の場合、入力ファイルの各記録には、次のものが含まれている必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ <code>&lt;datafield tag="888" ind2=" " ind1=" " &gt; &lt;subfield code="d"&gt;P&lt;/subfield&gt; &lt;/datafield&gt;</code></li> <li>◦ または、<code>&lt;datafield tag="888" ind2=" " ind1=" " &gt; &lt;subfield code="d"&gt;E&lt;/subfield&gt; &lt;/datafield&gt;</code></li> </ul> </li> </ul> <p>Almaは、一致する各記録の目録タイプを次のように決定します:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 一致する記録に冊子目録と電子目録の双方が含まれる場合、目録は混在していると見なされます。</li> <li>• 一致する記録に冊子目録または電子目録のみが含まれる場合、一致する記録の目録はそのタイプの目録と見なされます。</li> <li>• 一致する記録の1つだけが出典と同じ目録タイプ (電子記録または冊子記録) を含む場合、それは一致と見なされます。出典と同じ目録タイプを含む一致する記録が複数ある場合、目録タイプに基づく設定はありません。</li> <li>• 一致する記録の1つのみに混合目録が含まれ、電子記録または冊子記録のみを含む一致記録がない場合、混合記録は一致と見なされます。それ以外の場合、設定は目録タイプに基づきません。</li> </ul>
管理タグ	

フィールド	説明
外部カタログと同期しますか？	<p>外部カタログとの同期には次のオプションを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 書誌レコードを公開する</li> <li>• 所蔵のみを公開する</li> <li>• 公開しない</li> </ul>
<b>注文情報の検証</b>	
以下の場合にはオーダーを作成しない:	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 注文は資金不足です</li> <li>• 無効な資金コード</li> <li>• 負債をカバーするのに資金残高が不十分です</li> </ul>